

福島第一原子力発電所4号機 原子炉建屋内における 空調ダクトの損傷状況等の調査について

<経緯>

- ・ 3月15日午前6時12分頃に発生した爆発が4号機におけるものであり、また、3号機で発生した水素は、4号機の非常用ガス処理系空調ダクトを介して4号機の原子炉建屋内に流れた可能性がある。
- ・ 今回、4号機原子炉建屋が爆発した状況を調査する目的で、11月8日に原子炉建屋内における空調ダクトの損傷状況などの現場調査を行った。

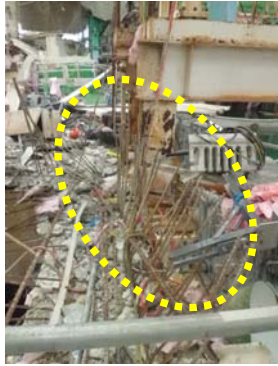
<調査日時>

平成23年11月8日（火） 14時30分頃～16時30分頃

<調査結果>

- ・ 原子炉建屋5階の床面が上に盛り上がっているのに対し、原子炉建屋4階の床面が押し下げられていること、原子炉建屋5階の空調吸気口に取り付けられている針金製の網が通常の空気の流れと逆流方向で張り出していることから、4号機の爆発による主な圧力の発生箇所は、原子炉建屋4階の可能性が高いことが確認出来た。
- ・ 原子炉建屋4階では本来の設置位置に空調ダクトは存在せず、空調ダクトの残骸と推定されるガレキが多数存在していたことから、原子炉建屋4階の主な圧力の発生箇所は、空調ダクト付近である可能性が考えられる。

4号機 原子炉建屋 5階の状況



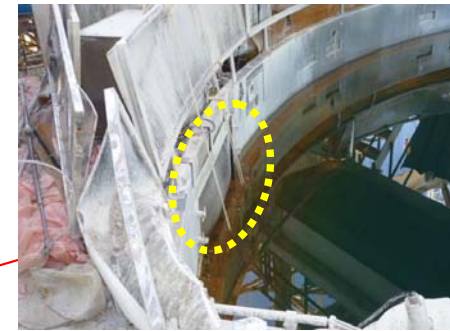
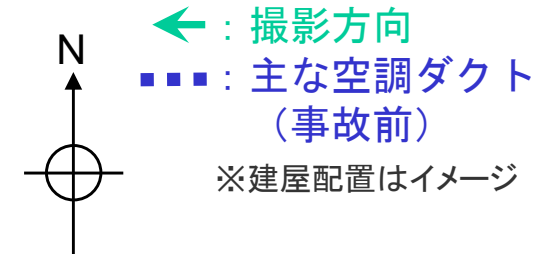
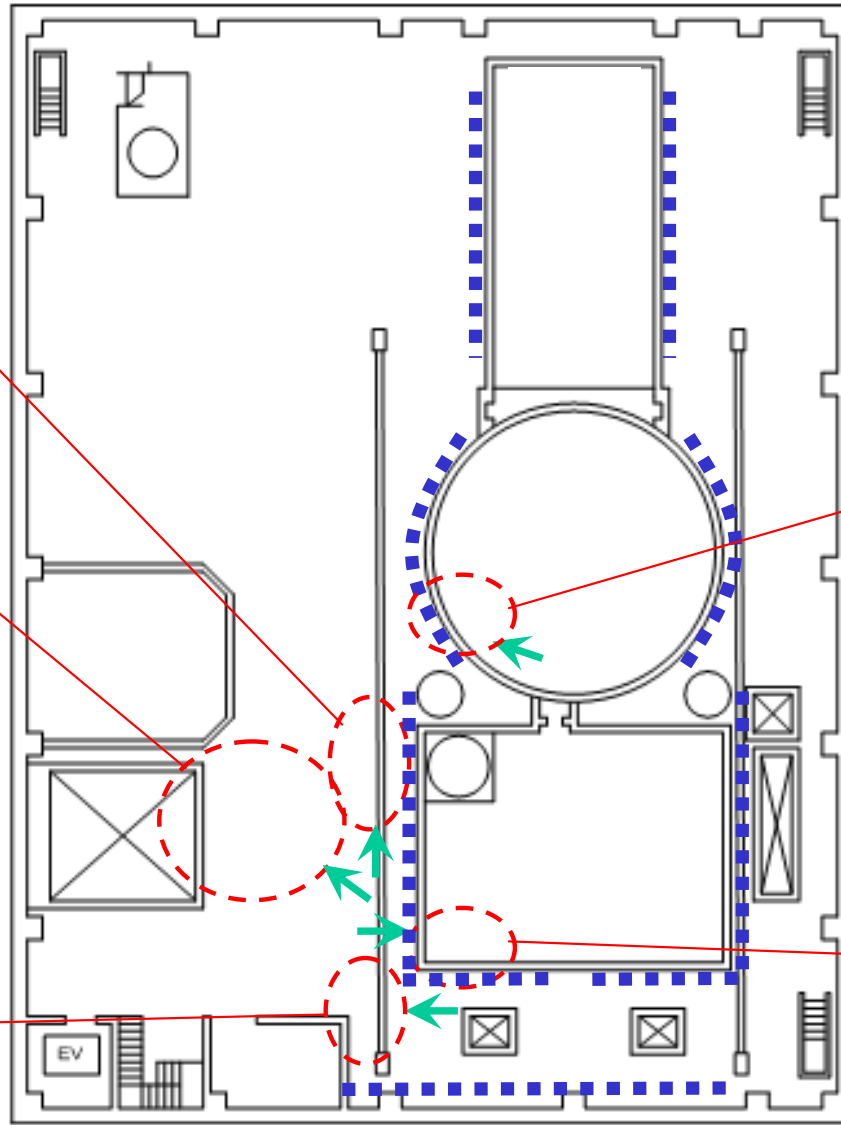
①上方方向に変形した鉄筋



②床面の捲れ上がり



③床面の盛り上がり

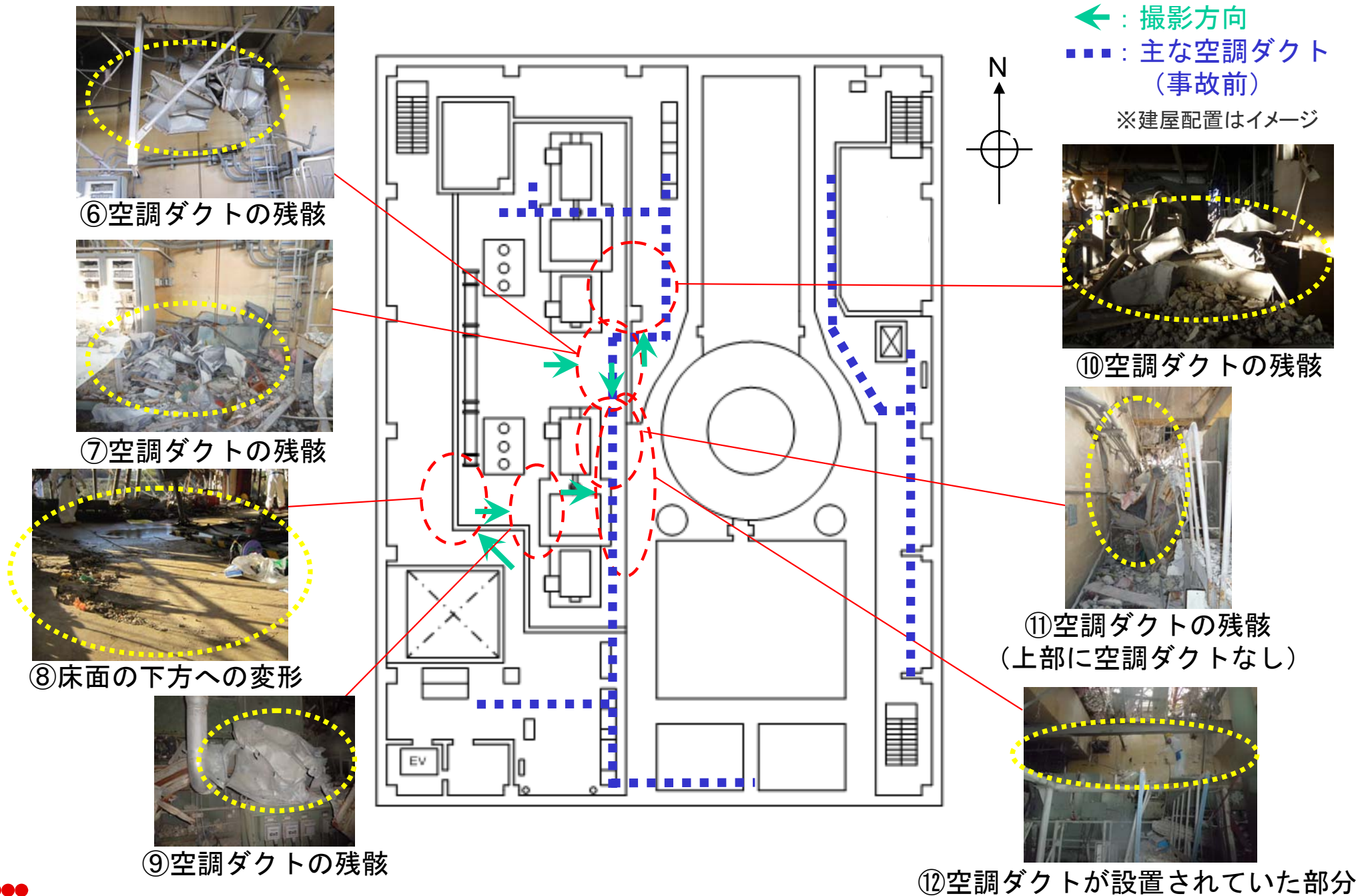


④原子炉ウェル空調ダクト吸気口の網が逆流方向へ張り出し



⑤使用済燃料プール空調ダクト吸気口の網が逆流方向へ張り出し

4号機 原子炉建屋 4階の状況



4号機 原子炉建屋 3階の状況



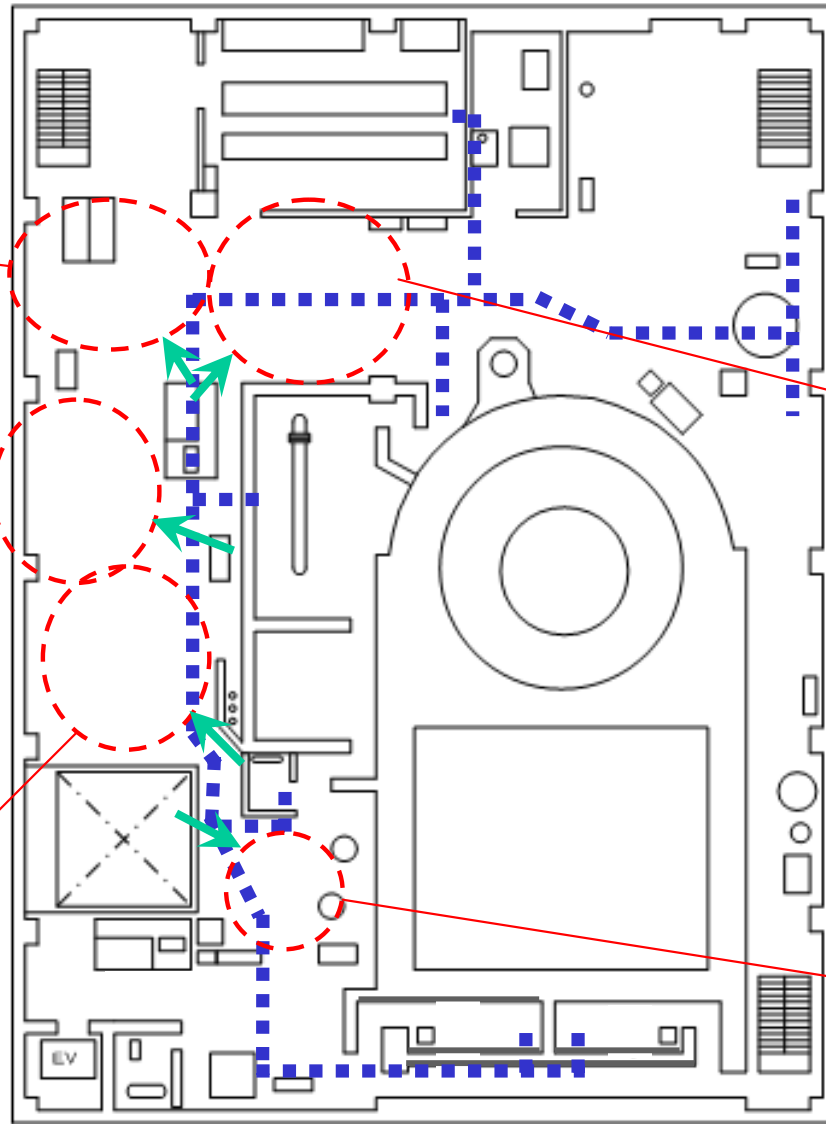
⑬床面の損傷



⑭床面の下方への変形
(手前は空調ダクトの残骸)



⑮空調ダクトの残骸



← : 撮影方向
■■■ : 主な空調ダクト
(事故前)
※建屋配置はイメージ



⑯空調ダクトの残骸



⑰空調ダクトの残骸